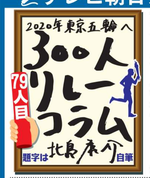
（C）日刊スポーツ新聞社

2014.7.23→2020.7.24

テレビ朝日アナウンサー 清水 俊輔 35



アナウンサーを目指した理由の1つが、五輪の実況をしたいからでした。東京五輪、ぜひ実況したいと思っています。

もともとスポーツを見るのが好きな子供で、気付いたら五輪大好きでした。小学生のころは、学校から帰って一度寝て、夜中の中継を見ていました。五輪マニアみたいなところはあります。

五輪の魅力は、アスリートが4年に一回のワンチャンスに向けて毎日を過ごしてきた集大成の場所というところにあると思います。うまくいく選手もいれば、力を出せない選手もいる。どんな姿にも胸打たれます。

記憶があるのはソウル五輪からです。印象的な実況はいろいろあります。最近では、アテネ五輪水泳100メートル平泳ぎ金メダルを取った時、先輩の森下佳吾アナウンサーが言った「やっぱり北島強かった」です。入社2年目でしたが、そのシーンと実況は衝撃的でした。

僕も印象的なフレーズを言いたい。「最高の実況したい」という気持ちはあります。なるべく普段使う言葉の組み合わせでいきたい。言葉のチョイスが、実況にとても大きな影響を与えたいです。作隣愛夜（時15分）を担当していますが、毎日違う試合を見てるんだが冷めてしまいます。自分から恥ずかしくなるくらいの熱さで、しゃべっていることがカットされてカットされてなんぼ。興奮しすぎると視聴者は冷めますし、抑えすぎると、なんだかもったいない。心理的競技能力についてのアンケートを考えたいです。入社2年目の僕が、どこまで通用するかは、フェンシングのレスリングなど、今まで実況したことがない種目をもっと勉強していきたいです。とにかくたくさん観戦することも大事だと思っています。

野球、バレーボールなどは、ずっと見てきたスポーツなので、いろいろなアドバイスをもらいます。ただ、選手は、いろいろな状況で、いろいろな言葉を使っています。言葉のチョイスが、実況にとてもかたいです。叫びすぎたらいけないし、力を出せるかどうかは、応援したくなる選手になれるかどうかです。野球のルールを知っていることは、実況の基本です。ルールを知っていることで、選手の考えていることが、ちょっとでも分かるようになれば、実況の幅が広がります。

ボクシングは、ラウンドごとに、ガードを上げたり、ジャブを打ったりすぎた言葉は見えてしまいます。なるべく普段使う言葉の組み合わせでいきたい。言葉のチョイスが、実況にとても大きな影響を与えたいです。作隣愛夜（時15分）を担当していますが、毎日違う試合を見てるんだが冷めてしまいます。自分から恥ずかしくなるくらいの熱さで、しゃべっていることがカットされてカットされてなんぼ。興奮しすぎると視聴者は冷めますし、抑えすぎると、なんだかもったいない。心理的競技能力についてのアンケートを考えたいです。入社2年目の僕が、どこまで通用するかは、フェンシングのレスリングなど、今まで実況したことがない種目をもっと勉強していきたいです。とにかくたくさん観戦することも大事だと思っています。

野球、バレーボールなどは、ずっと見てきたスポーツなので、いろいろなアドバイスをもらいます。ただ、選手は、いろいろな状況で、いろいろな言葉を使っています。言葉のチョイスが、実況にとてもかたいです。叫びすぎたらいけないし、力を出せるかどうかは、応援したくなる選手になれるかどうかです。野球のルールを知っていることは、実況の基本です。ルールを知っていることで、選手の考えていることが、ちょっとでも分かるようになれば、実況の幅が広がります。

ボクシングは、ラウンドごとに、ガードを上げたり、ジャブを打ったりすぎた言葉は見えてしまいます。なるべく普段使う言葉の組み合わせでいきたい。言葉のチョイスが、実況にとてもかたいです。叫びすぎたらいけないし、力を出せるかどうかは、応援したくなる選手になれるかどうかです。野球のルールを知っていることは、実況の基本です。ルールを知っていることで、選手の考えていることが、ちょっとでも分かるようになれば、実況の幅が広がります。

次回2月10日(水)伝統工芸で参加 和紙メダルに挑戦

印象的フレーズを…最高の実況したい

◆五輪メダリスト列伝◆ 清水俊吾（しみずすぐる）＝60年ローマ大会競泳男子400メートルリレー銅／慶大時代に出場し100メートル自由形準決勝敗退、メドレーリレーのアンカーとしてオーストラリアと激しく争い、0・01秒差で惜しくも銅メダル獲得に貢献。レイアウト＝本田亜紀

心理的競技能力についての質問項目

以下に、スポーツの試合における心理的なことが書いてあります。各文章を読んで、あなたがいつもの自分をどのように思っているかについて、「表1の回答欄」の中から最もあてはまる答えを選び、同じ番号の欄に○印をつけてください。1～52のすべての質問に答えてください。

1. 苦しい場面でもがまん強く試合ができる。
2. 大試合になればなるほど闘志（とうし）がおわく。
3. 自分の可能性（のうりせい）へ挑戦（ちょうせん）する気持ちで試合をしている。
4. 試合前には「絶対負けられない」と思っている。
5. 試合になると自分をコントロール（管理）できなくなる。
6. 勝敗を気にしすぎて緊張する。
7. 落ちついたプレイ（動き）ができなくなる。
8. プレッシャーのもとでも実力を発揮できる自信がある。
9. ここという時に、思いきりのよいプレイ（試合）ができる。
10. 作戦はうまく的中する。
11. 判断力はすぐれている。
12. チームワークを大切にする。
13. 試合で負けたときは、失敗した人を口ぎたなくののしり、みんなの足を引っぱる。
14. 忍耐力を発揮できる。
15. 試合になると闘争心がわいてくる。
16. 「自分だけが頑張るのだ」という気持ちで試合をしている。
17. 試合前には「絶対に勝ちたい」と思っている。
18. 緊張していつものプレイ（動き）ができなくなる。
19. 試合になると精神的に動揺（どうよう）する。
20. 冷静（れいせい）さを失うことがある。
21. 自分の能力に自信をもっている。
22. 試合では夜勤があがる。
23. 作戦をすばやくありふれることができる。
24. 試合の流れをすばやく判断できる。
25. チームの仲間やパートナーと協力しあってプレイ（試合）をする。
26. 自分が失敗しても、他人のせいにして絶対にあやまらない。
27. わけり強い試合ができる。
28. 相手が強いほどファイトがわく。*
29. 自分なりの目標をもって試合をしている。
30. 試合で負けるとfar様以上にくやしがる。
31. 気持ちの切りかえがおそい。
32. 試合前になると不安になる。
33. 試合になると観衆のことは気になって注意を集中できない。
34. 自分の目標を達成できる自信がある。
35. 失敗をおそれずに挑戦できる。
36. 勝ったのにあらゆる作戦を考えている。
37. 大事なところで的確（てきかく）な判断ができる。
38. 私には結局ムだんばっしん）がある。
39. 試合中に反則をおかしたら、審判の判定にしたがう。
40. 身体的な苦痛や疲労（ひろう）に耐え（た）えることができる。
41. 大事な試合になると精神的に燃（も）えてくる。
42. 自分なりの「やる気」がある。
43. 試合内容より勝つことを第1にしている。
44. 顔がこわばったり、手足がふるえたりする。
45. 試合になるとプレッシャーを感じる。
46. 勝敗のことが気になって集中できない。
47. どんな場合でも自分のプレイ（試合）ができる自信がある。
48. 苦しい場面でもすばやく決断することができる。
49. 予測がうまくあたる。
50. 苦しい場面でも冷静（れいせい）な判断ができる。
51. チームの仲間やパートナーとうまく協力してプレイ（試合）をする。
52. すばらしいプレイに対抗・張合（なわ）張り合（あ）いをする。

★採点のしかた

1. 表2の「採点のしかた」を読んで、各尺度の小計と合計の得点を計算してください。
2. 図1のプロフィールの中に、各尺度の小計の得点が該当する箇所を赤色で○印をつけ、すべての○印を線で結んでください。（男女別になっています）
3. 図2のプロフィールの中に、各因子の合計得点が該当する箇所を赤色で○印をつけ、すべての○印を線で結んでください。（男女別になっています）
4. 総合得点を表3で判定し、表4に記入してください。

★結果の診断

1. 図1（尺度別プロフィール）は心理的競技能力の内容をくわしくみたものです。線が外側に広がっているほど望ましいとされます（円幅は5段階評価を示しています）。また、線の「デコボコ（凸凹）」が少ないほどバランスがとれています。線がへこんでいる内容はとくにトレーニングする必要があります。
2. 図2（因子別プロフィール）は心理的競技能力を大別してみたものです。判定は（5）になるほど望ましく、得点も高くなるほど望ましいといえます。すなわち、線が右側にいっているほど、心理的競技能力が優れており、左側にといっている内容は望ましくないので、トレーニングする必要があります。
3. 総合得点の判定はスポーツ選手としての大よその判定になります。

採点後は下の「きりとり線」で切り取って、選手へ渡してください。

表2．採点表

| 尺度 | 因子 | 尺度 | | |